

令和4年駒ヶ根市教育委員会第2回定例会 次第

令和4年2月22日（火）午後2時
駒ヶ根市役所 保健センター2階 大会議室

- 1 開 会
- 2 教育長報告 … P 1
- 3 事業報告及び事業計画 … P 3
 - ・臨時教育委員会 3月 1日（火）午後4時 保健センター2階 大会議室
 - ・定例教育委員会 3月22日（火）午後2時 南庁舎2階 大会議室
- 4 審議案件 … P 5
 - 議案第1号 令和4年度予算概要について
- 5 協議事項
- 6 報告事項
 - (1) 公民館長の任命について … P 18
 - (2) 行事共催等承認申請の専決処分について … P 19
- 7 その他
 - (1) 令和4年度教育委員会定例会等の開催日程について … P 20
 - (2) 校長の離任と着任における教育委員の任務について … P 21
- 8 閉 会

令和3年度 第11回駒ヶ根市定例教育委員会 2月22日(火)

『啓蟄や たー一の 青蛙』

(原 石鼎 (はらせきてい))



【季語】 啓蟄 (けいちつ)

たった1匹の青蛙がいる、ああそうか『啓蟄』なんだなあ。

春がそこまで来ているんだなあ

※啓蟄は二十四節気の一つ。冬眠していた虫たちが地上へ出てくる頃のことを言うのだが、この言葉を聞くたびに「ああそうか、寒い寒いと言っていたが、春がもうすぐそこまで来ているんだなあ」と妙に納得してしまう。入試、卒業、入学、新学期という言葉が聞こえ出す時期。不安定な子どもも出てくるが、妙に襟を正そうと意識するこの時期を子どもと大事に過ごしたいものだ。

◆教育の原点

2/2 信濃毎日新聞コラム (山口美和) 心理学者の近藤卓氏の言葉から

『社会的自尊感情』

→他人との比較や能力の有無によって自分は価値があると思う感情

- ・条件付きの自尊感情である。勉強ができるから、運動が得意だから、親や先生の言うことをよく聞く「いい子」だから、自分は愛され生きる価値がある人間だというように自己の存在価値を認めるため、常に条件がつきまとう。

『基本的自尊感情』

→無条件かつ絶対的に自分には生きる価値があると思う感情

- ・ありのままの自己を肯定的に受け止めるこの感情は「自己肯定感」とも言い換えられる。欠点も含めて自分をかけがえのない存在だと思う感情が育まれるためには、乳幼児期に自分をありのままに受け容れてくれる大人の存在が不可欠である。

※他人との比較に身をすり減らし、子どもが希望を失ってしまう前に「あなたが今ここに生きていること、それ自体に価値があるのだ」と伝えたい。

- ♥ 私たちは子どもたちに基本的自尊感情を高めるような教育的配慮を行っているだろうか。もしかしたら、無意識のうちに社会的自尊感情を育てていることはないだろうか。この無意識の行為が深く子どもの心に浸透していたとしたらとんでもないことになる。そのためには、学校も地域も家庭も「内から育つ」子どもに育まねばならないことがお分かりかと思うが如何だろう。

◆先達の教え①

人間力を高める「論語と算盤」の言葉

栗山英樹 VS 安岡定子

- 人はどうしても花を咲かせたい、葉を繁らせたいと上の方ばかりに目が向く。でも 大切なのは目に見えない根っこの部分だ。

- 解決する方法を自分で見つけれられるのが本当の学問

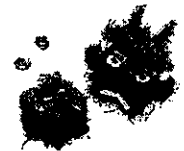
- 栗山英樹の信念

- ・「そうあるべき」というものは消していかないと新しいものは生まれない
- ・「こうやってグチャグチャになって苦しんでいる時ほど、何かが生まれるんだ」

- 栗山英樹の判断基準「選手のためになるかならないか」

- ・負けが続く中、心が揺れ動く自分がいることも確かで、如何に覚悟を持ってその方向性を貫けるかが勝負。

- ・「この道を進むことこそ自分の生きる道だ」という強い決意は、必ず進化に繋がっ



ていく。

○真剣になるほど本物の書物を求めるようになる。

○論語を読むとき、言いたいことを少し控えめにし、「後は考えてみて」とできる限り自分で考えてもらうようにしている。解決策は、自分で考えること、分からないことを分からないままにしないこと

○新しいものばかり追いかけて過去を学ぶことを忘れるとバランスを崩してしまう。

◎昨年 NHK『晴天を衝け』が放映されてから時の人として注目を浴びている渋沢栄一。彼の『論語と算盤』が今の時代に救世主的存在の指針としてもてはやされている。論語を自分のものとして、しかも経済と照らし合わせているところがすごいところだ。自分の今の仕事に当てはめたらどうなるかを実際の場で生かしている栗山監督。教師は、先人から多くを学ぶべきであると改めて思う。

◆先達の教え2

○「あなたのパッションは分かるが、それがどのように巨大な組織の末端まで通ずるのか」と外国のグローバルビジネスのトップに質問した答え

「It's easy」「repeat, repeat, repeat, repeat, ...」

できるだけ何度でも言い続ける。リーダーにとって反復、継続は不可欠



♥ こちらの思いを相手に伝えるのはなかなか難しいものである。一度言っただけで相手が「分かってくれたつもり」になったり、聞き手も一度聞いただけで「分かったつもり」になることが多く見られることだ。この「つもり」ほどいい加減なものはない。分かってもらうには、それは簡単なこと。「何度でも、繰り返し、繰り返し、繰り返すこと」だ。言われてみれば、全くその通りなのだが、なかなか実践が難しい。しかし、難しいと言っているだけでは済まされないのが現実である。

《ちょっと立ち止まって》「内から育つ」姿を求めて※最近の教育関係の様子、新聞、駒ヶ根の子どもの様子、資料

◆登校の一コマ

毎朝の挨拶を続けているが、ここにきて様相が微妙に変化してきている。子どもたちの挨拶が自然な受け答え(?)になってきているのだ。警戒心が解けた感じと言ったらいいのだろうか。中には私の顔を見て「今日も会いましたね。おはようございます」という爽やかな感じを醸し出す子も見られるようになった。雪降りの狭い歩道ではお互いに道を譲り合う姿も見られるようになった。



「今の子どもは…」という評価はあたらない。むしろ大人の方が挨拶をしない。世間で揉まれてきたはずの大人が子どもたちに手本を見せようとしないのはどういうことだろうか。内から育つ子どもを促すのは、子どもを包み込む環境である。

◆雪掻きの一コマ

2/10 は朝から大雪だった。子どもたちの登校前に雪かきをしていたときのこと。

二人の女子高校生が通り過ぎた。一人は「おはようございます」と言っても反応なし。しかし、掻いた一本道は通って行った。もう一人は「おはようございます」と言う「おはようございます」と爽やかに返ってきた。つい「いってらっしゃい」が自然と口をついて出た。また近くにいた妻が「おはようございます。いってらっしゃい」と言う「ありがとうございます」と返したという。

さて、私たちはどちらの人間に成長して欲しいと願うだろうか。言わずもがな。内から育っているかどうかは、形にも表れるものだとつくづく感じた次第。

2月分 教育委員会事務事業計画

2022年2月16日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	火	9:30	上伊那教育長部会[伊那市]	教育長
		13:30	部課長会[本庁大会議室]	教育長、次長
2	水	9:30	市内校長会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長、子ども課
		18:30	上穂町区市政懇談会[]	
3	木	17:30	所属長懇談(保育所)[保健センター大会議室]	次長
4	金	10:00	図書館協議会[文化センター](書面)	教育長、次長、社会教育課
5	土	14:00	公民館ふるさと講座(JAXA澤田氏)[赤穂公民館講堂]	社会教育課
6	日			
7	月	9:00	庁議[本庁大会議室]	教育長、次長
8	火	14:00	5次総基本構想審議会[南庁舎大会議室]	次長
		19:00	国保運営協議会[]	子ども課長
9	水	9:00	部課長会[本庁第5会議室]	教育長、次長、両課長
		13:30	給食財団理事会[保健センター]	教育長、子ども課
10	木	19:00	東伊那市政懇談会[]	
11	金			
12	土	13:30	天竜かっぱ広場運営委員会[かっぱ館]延期	社会教育課
13	日			
14	月	10:00	庁議[本庁第5会議室]	教育長、次長
		15:30	本登録児童生徒支援委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
15	火	18:30	スポーツ推進審議会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
16	水		県市町村教育委役員会・代議員会[]	教育長代理
17	木	13:30	文化財団理事会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
		15:00	文化財団評議員会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
		19:00	体育施設調整会議[南庁舎大会議室]	社会教育課
18	金	9:00	議会全員協議会(予定)	
19	土			
20	日			
21	月	10:00	3月議会開会(予定)	教育長、次長
		15:30	幼児幼年教育研究会[赤穂公民館 講堂]	教育長、次長、子ども課等
22	火	14:00	定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
23	水			
24	木		学校事務職員会議[]	
25	金	16:00	全国大会激励会(囲碁)[教育長室]	教育長、次長、社会教育課
26	土			
27	日	13:50	スポーツ少年団指導者協議会研修会[社会体育館]	社会教育課
28	月			

3月分 教育委員会事務事業計画

2022年2月21日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	火	10:00	市町村教育委員会連絡会[伊那合庁] 全体会議⇒個別面談	教育長、職務代理
		16:00	臨時教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
2	水	9:00	市内校長会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
3	木	19:00	グラウンド利用団体合同連絡会議[南庁舎大会議室]	社会教育課
4	金		年間事業計画調整会議[]	子ども課
5	土	9:00	市町村対抗駅伝説明会及び選考会[丸塚公園]	社会教育課
6	日			
7	月	10:00	一般質問(予定)[議場]	教育長、次長
8	火	10:00	一般質問(予定)[議場]	教育長、次長
		18:00	調べる学習コンクール表彰授与式[文化センター]	教育長、社会教育課
9	水		議会委員会(予定)	
10	木		議会委員会(予定)	
11	金		議会特別委員会(予定)	
12	土	13:30	天竜かっぱ広場運営委員会[かっぱ館]	教育長、社会教育課
13	日			
14	月		議会特別委員会(予定)	
15	火		議会特別委員会(予定)	
16	水		市内小学校卒業式	教育委員、教育長
17	木		市内中学校卒業式	教育委員、教育長
18	金		高校入試合格発表	
			議会最終日(予定)[議場]	教育長、次長
19	土			
20	日	11:30	文化財団奨励賞受賞式[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
21	月			
22	火	14:00	定例教育委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長
23	水	13:00	教職員永年勤続表彰伝達式[南庁舎小研修室]	教育長、次長、子ども課
		13:30	転退職教職員送別の会[南庁舎大会議室]	市長、教育委員、教育長、次長、両課長、子ども課
24	木			
25	金		保育園幼稚園卒園式[各保育園幼稚園]	子ども課
26	土			
27	日			
28	月			
29	火			
30	水			
31	木			

1 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援

めざす姿 子どもを望む全ての人が安全安心な妊娠・出産・楽しい子育てができ、子どもたちが健やかに成長発達している。

	推移(R3は見込み)						目標	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R8
安心して子育てできる支援が整っている	-	3.16p	-	3.25p	-	3.28p	-	3.75p
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合	94.0	94.1	94.7	93.6	94.1	95.0	95.0	95.5
乳幼児健診の受診率	97.0	99.0	98.6	97.4	95.0	96.0	97.0	99.0

4年度のポイント

- ①妊産婦への支援を充実します。
- ②母子の健康管理を充実します。
- ③発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育を推進します。

① 安心して子どもを産み、親として成長することの支援 継続

妊婦一般健康診査支援事業【予算額 25,295千円】

・妊婦健診受診票の発行 1人当たり14回 126,790円

妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、県内の全市町村で統一した受診券方式による公費助成を行います。(県外医療機関での受診含む)

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
金額(千円)	27,675	28,927	24,430	23,902	24,090

(R3は見込み)

母親学級・パパママ教室・パパママライフプラン教室

妊娠中の身体管理、親となる心構えと育児の実際及び子育てにかかる経済的負担や支援について伝え、円滑な育児開始を図ります。

未熟児養育医療給付事業【予算額 1,300千円】

出生後、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある乳児に対して、医療の給付を行います。

妊婦歯科健診事業【予算額 336千円】

妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、受診券方式による公費助成を行います。

② 妊婦保健指導の充実 継続

妊婦の生活状況を把握しながら、妊婦健康診査の必要性、予防や健康的な生活習慣などについて保健指導を行います。支援の必要者には支援計画を作成し、医療機関等と連携を図りながら引き続き保健指導を進めます。

母子健康手帳の交付人数
(R3は見込み)

年度	H29	H30	R1	R2	R3
人数	246	248	208	217	220

③ 産後ケアの充実【予算額 2,940千円】 継続

<産後ケア事業> 出産後の育児や体の回復に不安のある母が、児とともに医療機関や助産所に宿泊や日帰りで滞在し、授乳指導や育児相談を受ける費用の一部を助成します。

年度	H29	H30	R1	R2	R3
件数(件)	4(宿泊4)	3(宿泊3)	4(宿泊3日帰1)	6(宿泊6)	4(宿泊4)
決算額(千円)	217	170	157	187	150

(R3は見込み)

<母乳相談等事業> 育児不安、母の心身の回復、乳房マッサージ等、必要な保健指導を医療機関や助産所で受ける費用の一部を助成します。2,000円券×5枚 (R3は見込み)

年度	R1	R2	R3
交付実人数	222人(1069枚)	202人(993枚)	220人(1100枚)
利用実人数(利用枚数)	204人(270枚)	170人(228枚)	185人(254枚)
決算額(千円)	540	456	508

<産婦健康診査受診票の発行> 精神的にも不安定になりやすい産後間もないお母さんのこころと身体の健康保持や産後うつ病の予防等、出産後の切れ目ない支援のため産婦健康診査の費用の一部を助成します。

④ ほぼえみ支援（不妊に悩む方への支援）【予算額 5,000千円】

拡充

不妊治療費助成金

不妊に悩む夫婦の精神的、経済的負担を軽減するため、不妊治療に要する費用の一部を助成します。今年度から助成額の上限を10万円から20万円に引き上げます。

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
件数(件)	35	29	39	46	30
金額(千円)	2,447	1,595	2,876	3,305	1,940

(R3は見込み)

⑤ 母子の健康管理の充実

継続

健診、育児相談

乳幼児期の成長発達を確認し、疾病等の早期発見、子育てに関する不安や悩みの軽減を図ります。

《健診》3ヶ月、9ヶ月、1歳6ヶ月、3歳

《育児相談》6ヶ月、12ヶ月、2歳3ヶ月

〈1歳6ヶ月児健診〉 (R3は見込み)

〈3歳児健診〉 (R3は見込み)

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
対象児数(人)	251	248	234	210	236
受診者数(人)	250	247	230	201	226
受診率(%)	99.6	99.6	98.3	95.7	96.0

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
対象児数(人)	265	248	256	250	220
受診者数(人)	260	247	247	236	209
受診率(%)	98.1	99.6	96.5	94.4	95.0

乳児一般健康診査支援事業 【予算額 1,258千円】

1ヶ月児健診の負担の軽減を図るため、受診券方式による公費負担を行います。

⑥ 子どもを健やかに育てる環境づくりの推進

継続

市保健師や助産師、市内産科医療機関または助産所の助産師が全出生児対象に新生児訪問を行います。また、助産師・栄養士・家庭児童相談員等の専門職が子育て支援センターに出向き、気軽に相談できる環境づくりに努めます。

⑦ 発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育の推進

継続

児童発達支援事業 【予算額 32,374千円】

発達障がい等心身に何らかの障がいあるいは発達特性を有し、訓練を必要とする児童に対して、日常生活の自立及び集団生活適応力、社会力をつけるための個別、集団の療育訓練を行います。

〈児童発達支援施設つくし園 利用延人数〉 (R3は見込み)

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
児童発達支援(乳幼児、園児)	2,421	2,818	2,319	1,987	2,100
放課後等デイ(学童)	413	349	370	329	400
保育所等訪問支援	7	9	7	10	20
タイムケア(障がい児の一時預かり)	392	496	226	61	110

⑧ 食を通じた母子の健康づくりの促進

継続

乳幼児健診時などにおける相談、教室などを通じ栄養指導、食育の推進を図ります。

⑨ 安全な予防接種の推進 【予算額 78,355千円】

拡充

疾病の発生及びまん延を予防し、子どもの健やかな成長支援を図ります。また、より安全で接種しやすい環境づくりのため、全ての予防接種を個別接種により実施します。

＜定期予防接種＞4種混合、2種混合、BCG、水痘、麻しん風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタ、子宮頸がん（子宮頸がんについては、国の方針に基づき、平成25年6月から積極的勧奨を差し控えていましたが、令和4年4月から積極的勧奨を再開します。）

＜任意予防接種＞インフルエンザの感染リスクを下げ、安心して受験に臨めるよう、中学3年生のお子さんのインフルエンザ予防接種費用の一部を補助します。

決算額(R3は見込み)

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
金額(千円)	53,495	53,413	53,473	51,297	54,000

政策 1-1	未来を担うひとづくりを進めます
総合戦略 3-②	妊娠・出産支援・第2子第3子を生みやすい環境整備

R4.2 子ども課

2 家庭・地域の子育て力の向上

めざす姿	●様々なニーズに対応した子育てが安心して行える環境が確保され、気軽に相談できる体制や地域も含めた子育て全般に渡るサービスが整っている。 ●児童虐待もなく、不登校などにもつながらない健全な家庭生活が保たれている。
------	---

	推 移						目 標	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R8
安心して子育てできる支援が整っている(ポイント)	-	3.16	-	3.25	-	3.28	-	3.75
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合(%)	94.0	94.1	94.7	93.6	94.1	-	95.0	95.5

年度の ポイント	気軽に子育て支援サービスが受けられる環境を整備し、子育て家庭の心身及び経済的な負担軽減に努めるとともに、子どもに関する相談体制を充実します。さらに、関係機関等と連携し、不登校児童生徒などに対する取組を推進します。
-------------	---

① 子ども交流センター・子どもクラブの運営 継続

保護者が勤務等で家にいない児童の放課後の安全な居場所や健全な遊び場を提供する。

◆児童厚生員等の報酬、施設維持費等【予算額 29,382千円】

◆子ども交流センター利用状況（4館※の平日1日平均利用人数）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3 (見込み)
人数	156.0	140.9	168.7	174.1	127.9	(140.0)

※すずらん・三和森・赤穂東・みなみ子ども交流センター

◆子どもクラブ利用状況（2館※の平日1日平均利用人数）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3 (見込み)
人数	21.6	22.4	34.1	32.4	20.2	(22.0)

※中沢・東伊那子どもクラブ



<赤穂東子ども交流センター>



<中沢子どもクラブ（中沢公民館）>

② 子育て家庭の負担軽減

拡充

◆ハッピーママサポート事業（家事援助支援等）【予算額 270千円】

◆育児支援家庭訪問事業（虐待リスク等のある家庭への支援）【予算額 60千円】

◆子育て支援短期入所事業（子どもショートステイ事業）【予算額 86千円】

◆ファミリーサポートセンター事業（託児）【予算額 2,344千円】

子育て全力応援！関連事業

◆ファミリーサポート事業等利用料助成事業【予算額 335千円】

・ハッピーママサポート初回無料事業

・子育て支援短期入所初回無料事業

・ファミリーサポートセンター一部助成事業（会員双方の助成）



<ファミリーサポートセンター事業による託児>

③ いい育児の日関連イベント開催事業 新規

◆フリーマーケットや親子で遊べる体験コーナー【予算額 300千円】



<「いい育児の日」関連イベント イメージ>

子育て全力応援！関連事業

拡充

④ 子育て支援アプリリニューアル事業

令和4年度中に共同調達により、先行導入期間という位置づけで新システム（アプリ）を導入します。

（令和4年度中は負担金無料）

現行の子育て応援アプリ「こまっぷ」と並行運用を実施し、「こまっぷ」利用者が年度中に新システムに移行できるように配慮します。

現行どおり、子育て全般に関する情報を得られるほか、母子手帳や子育てのしおりの一部もこのアプリで管理できるよう、将来的に母子保健分野でのDXにも対応可能となります。

◆【予算額 330千円（既存アプリ分）】

※新旧システム並行運用



⑤ 子どもに対する相談体制の充実

継続

◆家庭児童相談員による相談業務

【予算額 6,857千円】

【家庭児童相談延べ件数】

内容	年度				
	H28	H29	H30	R1	R2
養 護	1,037	750	735	797	639
育 成	243	218	87	92	161
その他	472	117	42	57	59
合 計	1,752	1,085	864	946	859

●性格や行動、心身の発達・障がい、家庭環境、虐待などの子どもに関する相談を受け付けます。

必要な場合は、児童相談所等関係機関へつなぎます。（児童虐待は、養護相談の中に含まれます。）

◆教育相談員による相談業務

【予算額 3,529千円】

【教育相談延べ件数】

内容	年度				
	H28	H29	H30	R1	R2
不登校	41	23	38	71	150
発達障害	139	176	131	114	95
就学指導	202	180	238	186	177
その他	181	102	230	165	104
合 計	563	481	637	536	526

●いじめや不登校、就学に関する悩みなど教育に関する相談を受け付けます。

⑥ 発達障がい児に対する相談業務・療育支援

継続

◆保育カウンセラーによる相談業務

【予算額 3,600千円】

【カウンセリング延べ件数】

内容	年度				
	H28	H29	H30	R1	R2
巡回相談	431	391	410	439	167
健診相談	70	10	3	11	12
その他	249	225	385	195	187
合 計	750	626	798	645	366

●保育カウンセラーによる保育園・幼稚園の巡回相談や個別相談・発達検査などを実施することで、療育を必要とする子どもなどの支援を行います。

未来へと
命を繋ぐ
189（いちやぐ）

児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。

189

通話は匿名で行うことも可能です。
通報者や連絡内容に関する秘密は守られます。
児童や子育てに関する悩みや質問がある方は、
児童相談所・市町村へお気軽にご相談ください。

厚生労働省

●児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。

●「189」にかけるとお近くの児童相談所につながります。

●通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。

※通話料は無料です。

政策 1-1	未来を担うひとづくりを進めます
総合戦略 3-(3)	子育て支援・第3子以降に照準、自然を武器に子育て環境イメージ アップ策に重点

R4.2
子ども課

3 幼児期の健全育成の推進

めざす姿

- 子どもたちが体を使った遊びを行い、年齢にふさわしい体力・運動能力を身につけている。
- 地域の特性を生かした保育がなされ、子どもたちが自然に親しみ、想像力や豊かな感性を身につけている。

4年度のポイント

- ① 子どもの体力向上を推進します。
- ② 地域に根ざした特色ある取組を進めます。

① 子どもの体力向上の推進

継続

○保育園・幼稚園における運動遊びの推進

子どもたちの体力や運動能力を高めるため、日常の保育の中に運動あそびを取り入れるとともに、親子で体を動かすことを楽しむ機会を提供し、保育の質の向上を目指します。

○幼児運動能力評価

引き続き、幼児運動能力評価を実施することにより、駒ヶ根市の子どもの運動能力の現状把握を行い、運動能力向上に向けた保育の取組に生かします。

② 地域に根ざした特色ある取組

継続

公立・私立保育園幼稚園の入所状況と今後の予想(各年4月1日現在)

(単位：人)

	H30	R01	R02	R03	R04
公立保育園(8園)	630	622	597	624	618
公立幼稚園(2園)	85	71	77	72	53
私立保育園(2園)	179	177	187	182	169
私立幼稚園(1園)	72	67	65	64	56
合 計	966	937	926	942	896

○未満児保育料の軽減

- ・少子化対策として、同時入所でなくても、第3子の軽減を50%、第4子以降の保育料について引き続き無料とします。
- ・未満児保育料について、各層上伊那の市町村と同程度に軽減し、育児と仕事の両立支援につなげます。

<国の制度>

- ・子どもが同時入所の場合、第2子半額、第3子以降無料。
- ・年収360万円未満の世帯について、多子計算に関わる年齢制限を撤廃し、第2子の保育料を50%軽減、第3子以降の保育料を無償化。
- ・ひとり親世帯等の保育料負担軽減として、年収約360万円未満のひとり親世帯の第1子の保育料を市町村民税非課税世帯並に軽減、第2子以降の保育料を無償化。
- ・市町村民税非課税世帯の第2子保育料無償化。

○幼児教育無償化の実施

継続

- ・3歳から5歳までのすべての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて幼稚園、保育所、認定こども園の費用を無償化します。
- ・3歳以上児の副食費について市で1,500円負担するとともに、同時入所に関係なく第3子以降の副食費を無償化します。

○公立保育園・幼稚園の運営

継続 【予算額 349,816千円】

- ・嘱託保育士・教諭・調理員報酬 54名分 132,321 千円
- ・臨時保育士・教諭・調理員賃金 71名分 110,581 千円
- ・給食賄材料費、教材他消耗品 58,696 千円
- ・未満児入所数 R03:190名 ⇒ R04:177名 13名減(公立のみ)
(0歳児：R03 13名 ⇒ R04 15名)
(1歳児：R03 78名 ⇒ R04 54名) (2歳児：R03 99名 ⇒ R04 108名)

決算額の推移

(R03は見込み 単位 千円)

	H30	R01	R02	R03
	310,289	325,488	337,911	356,971

○ 私立保育園・幼稚園の運営のための支援

継続 【予算額244,270千円】

- ・ 私立保育所・幼稚園運営費 226,134千円 (R03 237,947千円) 国1/2 県1/4
- ・ 未満児入所数 R03:62名 ⇒ R04:57名 5名減 (私立保育園のみ)
(0歳児: R03 11名 ⇒ R04 10名)
(1歳児: R03 23名 ⇒ R04 23名) (2歳児: R03 28名 ⇒ R04 24名)
- ・ 私立保育所・幼稚園特別保育事業補助金 (単位: 千円)

	福岡保育園	桜ヶ丘保育園	聖マリン幼稚園	備考
延長保育事業	4,000	4,000	-	国県補助2/3
一時保育促進事業	1,200	-	6,000	国県補助2/3
乳児保育	510	510	-	県補助1/2
その他特別保育事業	421	172	-	
合計	6,131	4,682	6,000	

決算額の推移

(R03は見込み 単位 千円)

H30	174,236
R01	174,676
R02	234,391
R03	237,947

○ 未就園児童の子育て支援等

拡充 【予算額58,970千円】

- ・ 利用者数の推移 (R03は見込み 年間延利用者数: 子供の人数)

年度	H28	H29	H30	R01	R02	R03
きつずらんど	3,302	2,327	2,747	3,710	1,334	1,400
まあるくなあれ♪	2,628	6,790	6,893	6,710	3,488	3,800
一時預かり事業	1,105	1,378	1,195	1,042	805	660

決算額の推移

(R03は見込み 単位 千円)

H30	56,875
R01	59,998
R02	45,890
R03	55,737

- ・ きつずらんど、まあるくなあれ♪事業

駅前アルパ「きつずらんど」、経塚支援センター「まあるくなあれ♪」を設置し未就園児親子の交流支援を図ります。

きつずらんどの土曜日開館を実施します。

- ・ 乳幼児一時預かり事業

引き続き市内医療機関と連携し、8ヶ月未満の乳幼児の一時預かりを実施します。

- ・ 世代間交流事業(おじいちゃん先生)

- ・ 病児・病後児保育事業

児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育等が困難で、かつ保護者の就労等により家庭での保育が困難な際に、市内医療機関併設の病児保育室において児童を一時的に預かり、子育てと就労の両立の支援を図ります。

政策 11-1	未来を担うひとづくりを進めます
総合戦略 3-(3)	子育て支援・第3子以降に照準、自然を武器に子育て環境イメージ アップ策に重点

R4.2
子ども課

4 子どもの食育の推進

めざす姿

●様々な経験を通じて、食への関心を高め、地域に根ざした食に関する知識や健全な成長に必要な食品を選択する力を身につけ、豊かな心を育み、健全な食生活を実践している。

4年度の ポイント

- ① 子ども達が体験しながら学ぶ食育を推進します。
- ② 家庭での食育を推進します。
- ③ 「お弁当の日」を推進します。

① 体験しながら学ぶ食育の推進

継続

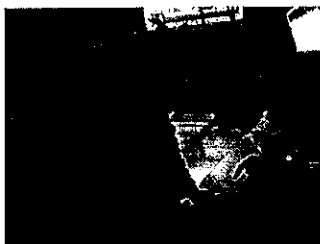
○園児への体験機会の提供

・園での野菜作り、収穫した野菜の調理体験、給食での行事食や郷土食の提供、親子クッキングなど、体験を通じた園児たちの食への関心を高める取り組みを進めます。



○家庭と共にする食育

園児が望ましい食生活習慣や生活リズム、マナーなどを身につけるために、園の給食や給食だより、親子クッキング等で、共食や朝食の大切さなどの啓発を行います。



② 学校食育の推進

継続

【予算額39千円】

- 「お弁当の日」のお弁当作り
- 食育授業

③ 実態調査

継続

- 食生活実態調査(3年に1回実施(令和3年度実施))

5 学校教育の充実

めざす姿

確かな学力や体力、豊かな人間性を持ち、自立して生きていける力を身につけ、地域づくりを担っていける子どもたちが育っている。

指標名	推移					目標		
	H29	H30	R1	R2	R3	→	→	R8
標準学力調査の目標値を上回った教科数、全国学力・学習状況調査の全国平均を上回った教科数の割合	79.2%	66.7%	86.4%	未実施	50.0%	→	→	80.0%

4年度の
ポイント

- ① ICT教育の充実
- ② 学力向上プログラム・外国語学習指導の充実
- ③ 児童生徒の安全確保の充実
- ④ 特別支援教育の充実

① ICT教育の充実

拡充

【予算額 48,255千円】

- 一人一台端末の活用
(2,684台)小学校1・2年生:iPad、小学校3年生～中学生:Chromebook)
- 大型提示装置の導入(新規:小学校1～3年の普通教室)
- 教員の指導力強化とICTリテラシーの向上(ICT支援員配置、ICT研修)
- ICT教育運用・保守等委託(校内LAN、障害・修繕等対応、セキュリティ対策等)

② 教科指導の強化

継続

【予算額 28,661千円】

- 学力向上対策指導主事の配置(子ども課:1名)
- 専科教員の配置((中学校:4名)国語・数学・理科等の個別教科の充実)
- ALTの配置((4名)小学校外国語活動・中学校英語教育の支援充実)

③ 不登校児童・生徒の居場所づくり

継続

【予算額 17,880千円】

- 不登校対策指導主事の配置(子ども課:1名)
- 子どもと親の相談員の配置(小学校:3名)
- 生徒相談員の配置(中学校:3名)
- 不登校生徒支援員の配置(中学校:1名)
- 中間教室適応指導員の配置(子ども課:1名)

④ 学習習慣形成

継続

【予算額 32,563千円】

- 特別支援教育支援員の配置(小学校:18名、中学校:1名)
▶発達特性のある児童・生徒への支援、個別指導の充実、要介助児童・生徒の対応

⑤ 標準学力調査・集団適応調査

継続

【予算額 3,708千円】

- CRT調査
▶全国学力・学習状況調査と併せ小学校3年から中学校3年まで実施
(小学校:国語・算数、中学校1年:国語・数学・理科・社会、中学校2・3年:国語・数学・理科・社会・英語)
- ▶児童・生徒の成長の把握とつまずきの発見・克服、指導法の検討と授業改善
- QU調査
▶小中学校全学年基本的に年2回実施、学級集団の状態や、子ども一人一人の意欲・満足感などを測定
▶学級経営の改善により、いじめ・不登校の防止と学力向上につなげる

⑥ 特色ある学校づくり

継続

【予算額 2,100千円】

- 各学校の教育目標の達成に向けた校長裁量予算
▶学力向上や指導力向上、地域に開かれた学校づくりなど、特色ある学校運営を校長のリーダーシップにより推進
▶コミュニティ・スクールの導入促進、活動充実など

⑦ 学校と地域が連携した部活動改革

新規

【予算額 2,396千円】

- 部活動・校外活動担当指導主事の配置(子ども課:1名)

めざす姿

未来を担う子ども・若者たちが、学校や家庭をはじめ地域社会全体の支援を受けながら、豊かな人間性や社会性を身につけて成長している。

指標名	推移				目標		
	H27	H29	R1	R3	→	→	R8
家庭・学校・地域が協力して子育てをしている。	3.45p	3.47p	3.50p	3.55p	→	→	3.65p
青少年が心身ともに健康に育つ環境にある。	3.34p	3.37p	3.35p	3.43p			3.49p

4年度の
ポイント

- ① コミュニティ・スクールの推進(地域とともにある学校づくり)
- ② 学校支援ボランティアの充実
- ③ キャリア教育の推進

① 学校支援ボランティア

継続

【予算額 1,242千円】

- 放課後学習支援
- 授業支援
- 外国語活動支援
- クラブ活動支援
- 本の読み聞かせ支援

② キャリア教育の推進

継続

【予算額 467千円】

- 産学官の連携強化(キャリア教育推進協議会)
- 職場体験学習
- JICAの学校交流事業

③ コミュニティ・スクールの推進

継続

【予算額 740千円】

- 赤穂小学校・赤穂東小学校・赤穂南小学校・中沢小学校・東伊那小学校
- 赤穂中学校・東中学校

4年度の
ポイント

青少年育成委員とともに、より良い環境づくりを進めます。

① 青少年健全育成事業

継続

【予算額 1,287千円】

- 地区子ども会活動推進事業補助
 - ・ 市内16区にある子ども会の活動を支援する
 - ・ 地区子ども会活動の交流
- ジュニアリーダー研修
 - ・ ジュニアリーダー・シニアリーダー 約30名
 - ・ 各種研修を実施
 - ・ VYS会に指導を依頼
- 成人式の開催
 - ・ 8月15日開催
 - 対象者 約400名



ジュニアリーダー研修会の工作体験

② 青少年育成センター事業

継続

【予算額 704千円】

- 青少年育成委員の活動を支援
 - 各区から選出される青少年育成委員34名による青少年育成活動及び補導活動を支援する。
 - ・ 青少年育成委員活動
 - 研修会、交流会への参加
 - 子ども会活動の運営
 - ・ 青少年の補導活動
 - 巡回指導、街頭指導の実施
 - 有害環境チェック活動



令和3年度 成人式

1 生涯学習の推進

めざす姿

- 誰もが生涯にわたって自由に学ぶことができ、その成果が地域づくりに活かされている。
- 生涯学習施設が、学び・実践・交流していく場所として活用され、望ましい学習態様が構築されている。

	推移							目標
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R8
生涯学習に取り組みやすい(満足度調査)	3.13p	—	3.10p	—	3.04p	—	3.16p	3.27p
図書館や公民館などの利用環境が整っている(満足度調査)	3.64p	—	3.55p	—	3.58p	—	3.71p	3.84p

4年度の
ポイント

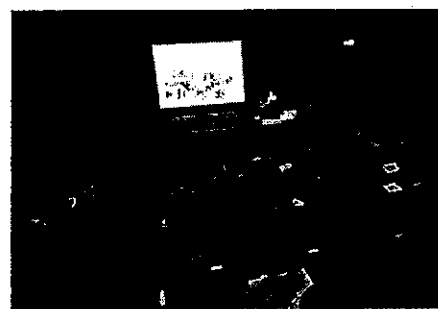
- ① 多様なニーズや新たな生活様式、ライフスタイルに対応できる学習情報や機会の提供方法を検討し、実践していきます。
- ② 生涯学習活動を支援します。

① 社会教育総務管理事業 **継続** 【予算額 2,882千円】

- 学習情報の提供(「生涯学習メニュー版」発行など)
- 人権教育の推進

② 公民館管理運営事業 **継続** 【予算額 40,178千円】

- 3公民館共同事業の実施
ふるさと講座等の開催、公民館報の発行
- 各公民館の管理運営
公民館運営審議会の開催
学級・講座の企画運営による学習活動
分館の活動促進(分館長・主事会の開催)



平和講座

③ ふるさとの丘管理運営事業 **継続** 【予算額8,878千円】

- 指定管理による維持管理
竹花工業(株)駒ヶ根支店に指定管理を委託し施設の維持管理を行う

④ 十二天の森整備運営事業 **継続**

【予算額 820千円】

- 生涯学習の場として、子どもたちを中心に活用する
活用イベント等の開催
遊歩道、支障木等の整備
ボランティア団体と連携した活動



自然観察会

⑤ 市民農園整備運営事業 **継続** 【予算額 114千円】

- 市民農園の貸出
市民農園 北割23区画、南割16区画、計39区画の貸出し

2 文化財の保存と活用

めざす姿

変わらないものの価値を後世に引き継ぐため、貴重な文化財の調査研究が進められ、有効利用しながら保全に努めている。

	推移(R3は見込み)						目標
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R8
文化財の指定件数	42件	48件	48件	48件	48件	49件	50件

4年度の ポイント

- ① 新たな文化財の指定
- ② 文化財の有効活用を図る
- ③ 文化財保存管理計画を策定し、適正な維持管理を行う

- ① 竹村家管理運営事業 **継続** 【予算額 2,607千円】
指定管理による維持管理

- ② 文化財保存事業 **拡充** 【予算額 4,642千円】

新たな文化財の指定

- ・文化財審議会の開催

指定文化財の保存管理

- ・文化財保存管理計画の策定
- ・文化財保存管理等のための人材（学芸員）配置
- ・市所有文化財の保存管理（旧木下家住宅、民俗資料館、赤須城跡、芭蕉の松 等）



旧竹村家住宅 文化財防火デー
消火訓練の様子

光前寺庭園整備活用委員会の開催

- ・名勝光前寺庭園の整備を行うため、活用委員会を開催する
- ・見学会等の開催



郷土館（菅の台）
駒ヶ根高原ブライダル協会



芭蕉の松（東伊那 火山）

- ③ 埋蔵文化財発掘事業 **継続** 【予算額 141千円】

埋蔵文化財発掘調査委託

- ・埋蔵文化財包蔵地において緊急的に発掘調査が必要となった場合に実施する
その後、事業主より調査費を補填させる
- ・埋蔵文化財包蔵地にかかる保存・保護活動

③ 文化芸術活動の推進

めざす姿

多くの市民が多様な文化芸術に触れる機会を持ち、自らも文化・芸術活動に参加をしている。

	推移 (R3の利用者数は見込み)							目標
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R8
文化芸術に親しみやすい(満足度調査)	3.10p	-	3.00p	-	2.97p	-	2.99p	3.27p
文化センター利用者数	142千人	152千人	152千人	143千人	134千人	69千人	80千人	170千人

4年度の
ポイント

- ① 優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。
- ② 文化施設の整備を進めます。

① 総合文化センター等の運営

拡充 【予算額 288,780千円】

●文化センター管理運営事業 (266,591千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、各種事業の実施及び施設の維持管理を行う。
- ・コロナ禍での自主事業の開催 (古典芸能・オペラ等)
- ・空調設備及び施設老朽化調査、基本計画等策定業務の実施
- ・施設改修工事 (トイレ改修、講習集会室等エアコン取替・新設) の実施
- ・ピアノ修繕調整・整音業務の実施
- ・伝統芸術文化の継承と保存、文化団体・鑑賞団体の育成と支援
- ・駒ヶ根市文化財団職員の人件費補助
- ・公民館と連携した講座開催、文化団体の育成
- ・地域交流センター (赤穂公民館) との連携により住民の相互交流、教育・文化芸術振興を図る。

●図書館管理運営事業 (17,460千円)

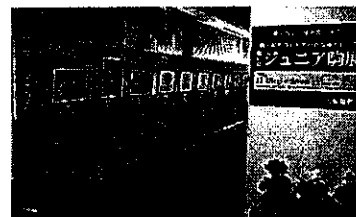
重点

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、図書館運営を実施。
- ・図書、諸資料の購入による蔵書資料の充実を図ることで、子育て応援にも繋げる。
- ・子ども読書活動推進計画によるブックスタート、セカンドブックに加え、新たに小学校1年生対象のサードブックを実施
- ・絵本巡回事業の実施、おはなし会及びお楽しみ会等各種催し物の開催
- ・協働電子図書館事業への参画
- ・蔵書数及び貸出数の推移

	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (見込み)	R4 (目標)
蔵書数(冊)	189,000	191,740	191,839	188,781	189,470	190,470
貸出数(冊)	211,524	205,471	203,500	182,663	183,000	200,000

●博物館管理運営事業 (2,749千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、博物館運営を実施
- ・第21回「駒展」及び第7回ジュニア駒展の開催
- ・日本現代工芸美術長野会展の共催
- ・各種企画展示の開催
- ・資料の収集整理



ジュニア駒展

●天竜かっぱ広場管理運営事業 (1,980千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、天竜かっぱ広場運営を実施
- ・ふれあい講座、ミニほっと講座等の開催
- ・館収蔵資料・作品による企画展示や特別展の開催
- ・竜東地域活性化への協力、

② 文化芸術振興事業

継続

【予算額 7,122千円】

●エル・システマ事業(音楽を通じて生きる力を育む事業)

- ・市内小学生を対象に、エル・システマのプログラムを活用した弦楽器教室等を開催

●文化芸術推進委員会開催



駒ヶ根子どもオーケストラ

4 市民スポーツの推進

めざす姿

ニュースポーツ、アスリートスポーツ問わず、すべての市民が求めるニーズに合わせ、それぞれの世代で楽しくスポーツに親しんでいる。

	推 移							目 標	
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R8
スポーツ少年団の小学生の加入割合	23.1%	22.1%	22.2%	26.1%	26.2%	26.0%	26.5%	27.0%	30.0%
週1回以上スポーツを実施する市民の割合			55.0%					60.0%	65.0%

4年度の ポイント

- ① スポーツを通じ、地域コミュニティや絆を構築し、一体感ある地域を目指します。
- ② 心身の健康を保持・増進するための施設整備を行います。

① 駒ヶ根高原庭球場の更新

新規

【予算額 157,707千円】

平成11年の設置以降24年余が経過する中で、小規模な修繕を行いながら維持につとめてきたが、施設全体の老朽化が進んでおり、人工芝の摩耗や接着面のよれなどの解消について利用団体からも更新の要望がなされている状況でした。今回の更新を行うことで、現在も利用している幅広い年代層の市民に対して、競技テニスの育成、生涯スポーツの取組み、健康促進など、地域スポーツ活動の場としての位置付けの強化が期待されます。あわせて駒ヶ根高原という立地の中で、観光アクティビティとしての役割も果たしていきます。



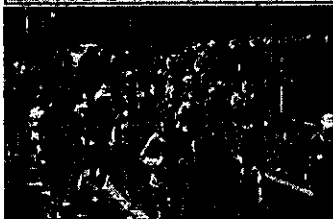
② 第9回信州駒ヶ根ハーフマラソンの開催

継続

【予算額 9,051千円】

「走る人」「応援する人」「スタッフとして支える人」が皆で楽しむことをコンセプトに、市内各地域や、団体の皆様のご協力の下、大会に参加されたランナーの皆様から高い評価を受け開催を続けてきています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症のためリモートマラソンを開催し1,600人余りの参加がありました。令和3年度(第8回大会)はロードレースとリモートマラソンを実施し、コロナの状況を踏まえつつ、できる限りの実施を行いました。令和4年度もコロナの状況を見据えながら、大会を支える市民の皆さんの笑顔あふれる「応援」や「おもてなし」でランナーの皆さんを、お迎えする大会を目指し、大会を軸とした地域の活性化を目指します。

開催日: 令和4年9月25日(日) 参加者(予定) 4,000名(ハーフ、5km、3km)



③ かける駒っ子 かけっこ教室・検定

継続

【予算額 550千円】

あらゆるスポーツの基礎となる「かけっこ」を通して、子どもの体力向上やスポーツに親しむ機会を増加させ、家庭や地域内でのスポーツによるコミュニティづくりから地域全体のスポーツ推進を図って行きます。

かける駒っ子 かけっこ教室・かけっこ検定

過去6年間で行った教室は、子ども達の運動に対する意識付けとして、一定の成果をあげることができています。

陸上短距離で元オリンピック選手の青戸慎司氏が作成した「かけっこマニュアル」を基に考案した、「かけっこ検定」を4校目の小学校で実施し、子ども達の運動意識を高めていきます。また学校教育に取り入れることで、教員のかけっこに対する指導力向上につながっています。子ども達が自己記録の更新などを目標に、学校や家庭、地域でのかけっこの輪を広げ、スポーツに親しむ子どもを増やします。



④ 運動遊びの広場事業

重点

【予算額 700千円】

体育施設の利用が少ない時間帯を活用し、天候に左右されず子どもが自由に遊びを考え、身体を動かせる場を提供することで、子育てを応援します。また、子育て世代のコミュニケーションの場となる効果も期待します。

公民館長の任命について

社会教育法第２８条及び駒ヶ根市公民館条例（昭和５４年条例第２４号）第３条の規定により、下記の者を各公民館長に任命する。

令和４年２月２２日

記

１ 氏名等

公民館	氏 名	生年月日	年齢	住 所
赤 穂	小松 民敏			
中 沢	久保田之義			
東伊那	春日由紀夫			

２ 任命年月日 令和４年４月１日

３ 任 期 令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

R4.2 定例教育委員会報告

行事共催等承認申請一覧(専決分報告)

区分	受領番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認
後援	3-089	リズムドラフトダンススクール合同発表会 RIDE ON LIVE 2022	リズムドラフトダンススクール	令和4年3月13日(日)	駒ヶ根市文化会館	承認
後援	3-090	令和3年度伊南子ども劇場鑑賞例会	伊南子ども劇場	令和4年6月11日(土)	伊南市町村内	承認
後援	3-091	令和3年度伊南子ども劇場低学年おやこキャンプ	伊南子ども劇場	令和4年7月10日(日)	駒ヶ根キャンプセンター	承認
後援	3-092	令和3年度伊南子ども劇場高学年キャンプ	伊南子ども劇場	令和4年7月29日(金)	阿南町二瀬キャンプ場	承認
後援	3-093	令和3年度伊南子ども劇場あそびじゅく	伊南子ども劇場	4～11月の月1回	東伊那の山林	承認
後援	3-094	令和3年度伊南子ども劇場未就園児サークル「ぼけっとクラブ」	伊南子ども劇場	4～3月の月1回	ふれあいセンターほか	承認
後援	3-095	令和3年度伊南子ども劇場 海の体験ツアー	伊南子ども劇場	令和4年4月29日(金)	愛知県知多半島 山田海岸他	承認
後援	3-096	ジュニアロースクールin上伊那	長野県弁護士会	令和4年3月26日(土)	オンライン	承認
後援	3-097	ストロベリーカップ	長野県ホッケー協会	令和4年3月20日(日)	アルプスドーム	承認
後援	3-098	JA上伊那アグリスクール	上伊那農業協同組合	令和4年4月23日(土)	JA上伊那本所ほか	承認
後援	3-099	2022冬の第34回山岸めぐみ門下生ピアノ演奏発表会	山岸 めぐみ	令和4年4月29日(金)	駒ヶ根市文化会館大ホール	承認
後援	3-100	2021年TOSS教え方セミナー 長野県伊那地区	TOSS教え方セミナー長野県伊那地区実行委員会	令和4年3月22日(火)	伊那市生涯学習センターいなっせ、Zoom	承認
後援	3-101	令和4年度 倫理経営講演会	長野県伊南倫理法人会	令和4年5月11日(水)	駒ヶ根市 アイパル3階	承認

共催 0 件
 後援 13 件
 協賛 0 件
 13 件

承認 13 件
 不承認 0 件
 協議中 0 件
 13 件

令和4年度 教育委員会定例会・臨時会の開催日程について

令和4年度の教育委員会定例会及び臨時会は以下の日程で計画しますので御予定をお願いします。

開催月	定例会	曜日	会 場	臨時会	曜日	会 場
4月	26日	火	保健センター 2階 大会議室			
5月	31日	火	保健センター 2階 大会議室			
6月	28日	火	南庁舎 2階 大会議室			
7月	26日	火	南庁舎 2階 大会議室			
8月	23日	火	南庁舎 2階 大会議室			
9月	27日	火	市役所本庁舎2階 大会議室			
10月	25日	火	保健センター 2階 大会議室	3日	月	保健センター 2階 大会議室
11月	29日	火	南庁舎 2階 大会議室			
12月	21日	水	市役所本庁舎2階 大会議室			
1月	31日	火	保健センター 2階 大会議室			
2月	28日	火	保健センター 2階 大会議室			
3月	20日	月	南庁舎 2階 大会議室	上旬		

※ 前例に倣い月末の火曜日を基本にしています。

※ 他の行事等との調整により日程及び会場を変更する場合があります。

前回から日程や会場を変更したもの

令和4年2月22日
駒ヶ根市教育委員会

校長の離任（退任）と着任における教育委員の任務について

1 離任（退任）…卒業式当日における教育委員の業務

- (1) 卒業式 …（「教育委員会告辞」）
- (2) PTA三役への退任校長紹介——校長室にて行う
※PTA会長がお礼の言葉を述べる（なくても）
- (3) 来賓への退任校長紹介——来賓への紹介、卒業式の後来賓控室にて行う
- (4) 離任式（教職員）——校長が紹介
—離任式（校長単独）——教育委員が先導
※退任式（退職校長）——教育委員が先導
式で児童・生徒への紹介（「教育委員会告辞」）

2 着任…入学式当日における教育委員の業務

- (1) PTA三役への紹介 …校長室にて入学式の前に行う
- (2) 来賓への紹介 …来賓控室にて入学式の前に行う
- (3) 着任式 …式場での先導
式で児童・生徒への紹介（「教育委員会告辞」）

【小学校】

- (4) 始業式
- (5) 入学式 …（「教育委員会告辞」）

【中学校】

- (4) 入学式 …（「教育委員会告辞」）
- (5) 始業式

3 その他

- *一般教職員の転（退）任式に引き続き一連の流れの中で校長の離任式を行う
- *あらためて入退場はしない
- *校長は、教育委員の先導で登壇する
- *基本的には簡素化・時間短縮の方向で

以上